

# スナメリの生態

2011年の東日本大震災に伴う津波で大きな環境変化がある松島湾ですが、震災前にはあまり見られなかったスナメリが確認されるようになりました。スナメリの生息域はアジアの沿岸海域、特にインドや中国、インドネシア、日本の沿岸で生息域の最も北にあたるのが仙台湾であるといわれています。

スナメリはイルカの仲間ですが、バンドウイルカと違ってめったにジャンプを見せずとても静かに泳ぎます。海や船の上から見ても静かに丸い背中や頭を水面から出すだけなので大型の魚と見間違えることもあります。

体の特徴としては、背びれがない代わりに背中に細い線があり、その上にはぶつぶつと小さな突起がたくさん散らばっています。この小さな突起の役割ははっきりとわかっていませんが、ほかの個体と接触する際に使っていると考えられています。

